

名称：沖縄県海洋深層水
総合利用施設建設工事

所在地：仲里村

工期：H11. 3. 25～H12. 3. 24

構造階数：RC造一部S造 2F

延床面積： 5,078 m²

総工事費：2,312,200 千円

県都那覇市より西130kmにあたる久米島に位置する。

「次世代の資源」とも言われる海洋深層水は、低温性・清浄性・栄養豊富という特性から、多くの可能性を秘めている。当該施設では、取水した深層水（深層水：13,000ℓ/日・表層水：13,000ℓ/日）の多段階的な利用……水産分野（ヒラメ・貝・海藻・ウニ・クルマエビ等）・農業分野（低温栽培及び溶液栽培にて低温野菜・ラン・果樹等の研究）・食品分野（飲料水・食塩）のほか、放水処理施設（ゴカイ十海藻を利用した浄化施設）等の開発研究がおこなわれている。



研究所本館 RC造 2F
延床面積 548.65m²



屋外水槽 FC造 250t水槽×4基
クルマエビは夏の高温に弱いことから、深層水の低温性を利用して水温を23℃以下に維持し、母エビの養殖を行う。

- 研修室：来訪者に対し情報の提供を行う。
- 研究室：研究員の執務室
- 第1実験室：魚介類の測定、種の保存、水質分析、クロロフィル量の測定、細菌分離等の実験を行う。
- 第2実験室：植物体や土壌の成分分析を行う。
- 環境調整室：人工的な環境下で地中冷却による生理生態反応を調査する。
- 農業調査室：植物体の計測、品質調査等を行う。
- 開放実験室：他研究機関に提供し、共同研究や実験の前処理等に使用する。
- 監視室：中央監視盤、複合防災盤による施設及び設備機器の監視を行う。
- その他：事務室、会議室、所長室、休憩室



機械棟 RC造 3F
延床面積 631.91m²



水産実用化試験棟 S造 1F
延床面積 945.00m²

養殖技術が確立された魚介類及び海藻類の生産、販売、流通などの実用化に関する研究を行う。
直径 8m、高さ1.2m、キャンパス水槽 8基



海藻・介類研究棟 S造 1F
延床面積 548.85m²

無脊椎動物のウニ類、貝類等の養殖に関する研究
海藻類のモズク類、オゴノリ類の研究を行う。



水産分野研究棟 S造 1F
延床面積 881.84m²

65t水槽 4基
養殖された母エビに催熱処理を施し、成熟促進に関する研究を行う。
また、作業場では母エビの選別、種苗生産及び成熟に関する実験を行う。



冷温農業・溶液栽培研究温室
S造 1F 延床面積 240m²×6

植物の地下部（根域）のみを冷却することによって高温障害を回避しホウレンソウ、サラダ菜等の周年安定生産技術を確立する。また地下部（根域）の冷却により、トルコキョウウ、コショウラン、モモ等の開花調整を行い、端境期生産技術を確立する。





名称：国際サンゴ礁研究・
モニタリングセンター建設工事

所在地：石垣市
工期：H11. 10. 5～H12. 2. 29
構造階数：RC造 1F
延床面積： 784.7 ㎡
総工事費：168,966 千円



「海の熱帯林」とも呼ばれるほど生物多様性の豊かなサンゴ礁の保全については、国際的にも緊急の課題とされており、平成7年には、サンゴ礁保全のための包括的な国際プログラムである国際サンゴ礁イニシアティブ（ICRI）が開始された。ICRIの主要な活動の一つが、地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク（GCRMN）の構築で、当施設は東アジア海域におけるGCRMNの拠点としての役割を果たすことを目的としている。



名称：西表国立公園
黒島園地トイレ新築工事

所在地：石垣市
工期：H11. 11. 30～H12. 2. 28
構造階数：RC造 1F
延床面積： 30.46 ㎡
総工事費： 45,833 千円



名称：県立北嶺学園改築工事

所在地：那覇市
工期：H11. 3. 19～H12. 2. 29
構造階数：RC造 1F
延床面積： 1,105.80 ㎡
総工事費： 851,492 千円

福祉施設を取りまく状況は、対象者の重度化、高齢化の進行、人権意識の高揚や生活の質、いわゆるクオリティオブライフの向上はもとより、リハビリテーション体制の必要性が高まっている。一方、福祉施設が施設ケア中心から地域ケア強化への流れの中で在宅福祉サービスの拠点としての施設機能の充実等新たな役割が求められている。このような、ニーズに対応するため、下記事項を基本として施設整備を行った。

1. 閉鎖的イメージから脱却した地域に開かれた開放的施設を目指す。
2. 高齢者、障害者が安全で円滑に利用できる施設のくリアフリー化に配慮。
3. 在宅福祉サービスの拠点としての役割を果たすため、ショートステイ専用居室を整備する。
4. 管理部門、入所部門を明確に分離し、施設利用者はもとより介護する者にも配慮した動線計画とする。
5. 各居室は、明るいゆとりある空間とし、施設全体としても家庭生活に近い環境が提供できるように整備する。





名称：中野地区地域活性化施設
新築工事

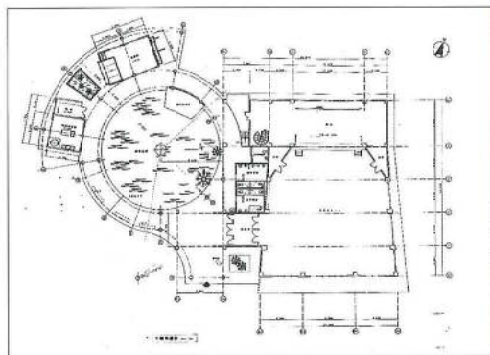
所在地：竹富町

工期：H11. 3. 19～H12. 1. 31

構造階数：RC造一部S造 2F

延床面積： 701.07 ㎡

総工事費： 358,792 千円



施設は、公民館的な集会場としての要素の多目的ホールや地域情報センターとしての図書館などの建設が議論されたが、地域の方の意見を基に音響設備の充実した専用ホールとして決定された。
計画のコンセプトは、閉鎖的な建築物であるホールをあえて開放的な空間として位置づけ、ホワイエ等の要素を屋外ホールとしても使用できる回廊状の空間を設け、周辺環境に配慮したものとした。



名称：船浦地区地域活性化施設
新築工事

所在地：竹富町

工期：H11. 3. 19～H12. 1. 31

構造階数：RC造 1F

延床面積： 425.82 ㎡

総工事費： 96,824 千円



名称：沖縄県特別自由貿易地域
賃貸工場建設工事

所在地：具志川市

工期：H11. 10. 28～H12. 3. 24

構造階数：S造（6棟）1F

延床面積： 2,000.00 ㎡（1棟）

1,500.00 ㎡（2棟）

1,000.00 ㎡（3棟）

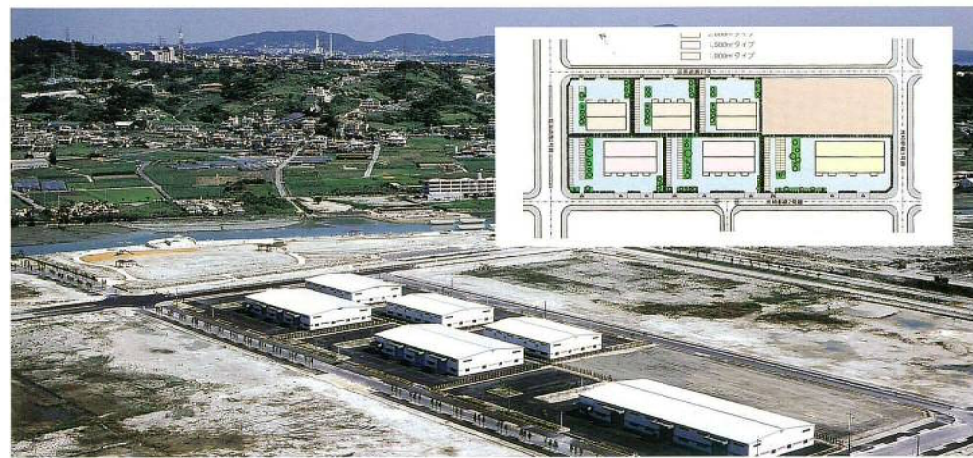
総工事費：1,507,000 千円



賃貸工場は、企業立地環境の整備と立地企業への支援を行うとともに、特別自由貿易地域への、県内外の企業誘致を促進することを目的として、建設された。
賃貸工場の整備区域は、中城湾港新港地区の特別自由貿易地域内に位置し、外区面積が3.4ヘクタール余り、このうち2.8ヘクタールを敷地としている。

施設の特徴

1. 入居する工場の施設形態は、多種多様な条件が想定されることから、さまざまな仕様に対応可能な工場である。
2. 立地が海岸に面することから、地盤対策・塩害対策を十分に考慮した。
3. 全6棟を屋根、壁とも統一した色彩で仕上げ調和のとれた施設群とした。





名称：
渡嘉敷港岸壁附属
施設工事
所在地：渡嘉敷村
工期：H11. 11. 25
～H12. 3. 27
構造階数：RC造 1F
延床面積：1,105.00 m²
総工事費：271,117 千円



名称：
座間味港岸壁及び
物揚場附属施設工事
所在地：座間味村
工期：H11. 11. 25
～H12. 3. 27
構造階数：RC造 1F
延床面積：1,218.45 m²
総工事費：264,850 千円

渡嘉敷村、座間味村の両村は、島々が織りなす美しい自然景観、白く輝く砂浜、世界に誇る透明度の高い海に恵まれ、海水浴、ダイビング、ホエールウォッチング等海洋性レクリエーションのメッカとして、多くの観光客が訪れている。しかしながら、亜熱帯性気候の特性である突然のスクールや夏の強烈な日差し、冬の雨混じりの強風の中でも、港湾利用者は屋外待機を余儀なくされ不便をきたしている状況であった。

このような状況の中、平成11年4月の沖縄政策協議会において、地元利用はもとより、観光リゾート客の利便性の向上を図る一環として、旅客待合施設の整備事業が採択され、沖縄特別振興対策特定開発事業推進費により、整備が行われた。



名称：伊計平良川線ロードパーク
道路情報室新築工事

所在地：与那城町
工期：H11. 11. 20～H12. 5. 23
構造階数：RC造 2F
延床面積：1,269.9 m²
総工事費：343,135 千円

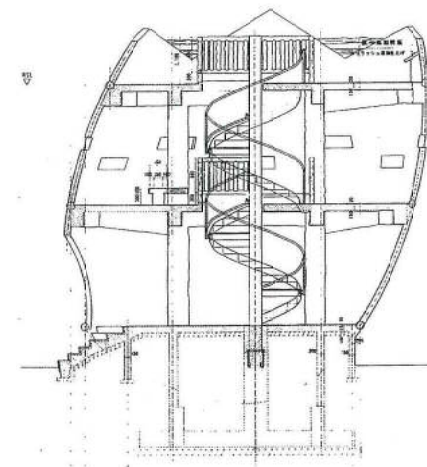


名称：バナナ公園渡り鳥観察所
建築工事

所在地：石垣市
工期：H11. 10. 1～H12. 2. 17
構造階数：RC造 2F
延床面積：87.83 m²
総工事費：38,679 千円

バナナ公園が位置するバナナ岳は、石垣市街地の北方約4kmにあって、南方におおむね230mの標高を進める長い稜線をもった、およそ400haにわたる森林丘陵地帯である。

本公園は、「石垣島の観光の形態を充実させるものであって、同時に市民対象を第一とする石垣島に少ない陸域レクリエーション効果と、自然教育効果をあわせもつもの」と性格づけて自然環境は出来る限り保存、維持し、特に熱帯の特色ある自然植生について充分配慮するとともに、積極的に熱帯の花木の植栽を考慮した、我が国最南端の都市公園として整備を進めている。





**名 称： 県営潮平高層住宅
建設工事**

所在地： 糸満市
 工 期： H10. 2. 5～H11. 8. 31
 構造階数： SRC造 12F
 戸 数： 124戸
 (内4戸：身障者対応型住宅)
 駐 車 場： 120台
 延床面積： 9,956.38 m²
 総工事費： 2,556.718 千円

基本構想

1. 健康な人も体に不自由のある人も、安心して日常生活ができる住まいづくり
2. 自然や地域社会に受け込みなじむ住居づくり
3. 敷地を有効利用し子供の遊び場を考慮した街づくり
4. 誰もが健康で文化的な生活ができる街づくり



敷地は、昭和59年に埋め立て事業が竣工した西崎町に隣接しており、野球場、市営体育館、市民プール、小学校、中学校、高等学校、スーパーマーケット等の各種施設が揃っており、通勤、通学、買い物に便利な場所に位置している。



中庭部分



駐車場部分

住戸計画

住戸タイプは、親子と子供二人といった標準的な家庭を想定した場合に対応できるよう3LDKタイプを基本としているが、将来の高齢化社会にも対応できるようバリアフリー化するよう努め、玄関や洗面所、便所などに手すりを設けるなどした。また、住戸は当初設計条件よりも4戸多い124戸として計画した。(1階に車椅子対応住戸を4戸加えた。)



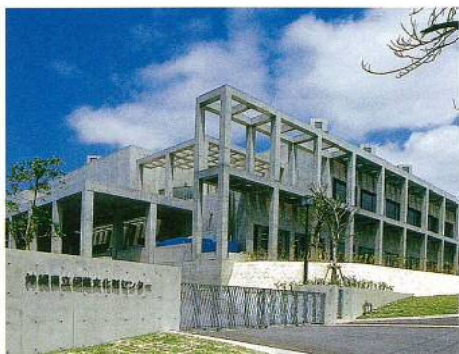
子供用運動器具



共有廊下部分
 全ての共有部分に手すりを取り付け、
 高齢者にも配慮した



車椅子対応住戸
 車椅子での出入りを考慮した、引戸式の開口の広い玄関ドア



名称：埋蔵文化財調査センター
(仮称) 建設工事

所在地：H10. 10. 9～H12. 3. 17

工期：西原町

構造階数：RC造 1F B1

延床面積： 3,688.29 m²

総工事費： 1,648,290 千円



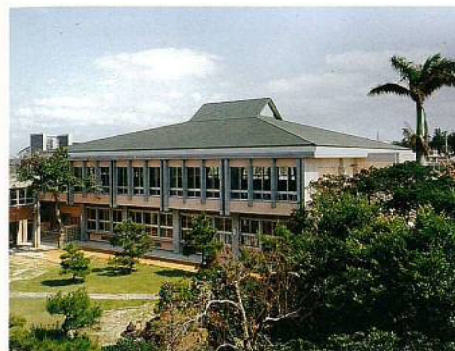
事業概要

当施設は、本県の埋蔵文化財関係機関のセンター的役割を果たす施設として、県内にある埋蔵文化財の調査研究及び保存、活用を行い、埋蔵文化財の保護を図るとともに、文化財保護思想の普及啓蒙につとめ、もって教育、学術及び文化の向上と発展に寄与することを目的として建設された。

設計者の選考に当たっては、基本概念や概要設計によるプロポーザル・エスキス設計競技を採用し、30点余の応募案の中から最優秀案を選定した。

計画の基本コンセプト

- ①外に開かれた構成と親しみやすさのある公共施設とする。
- ②自然と共生・調和する新たな建築の在り方を考える。
- ③地形の段差を利用し展示部分の一般来館者ゾーンと調査、研究及び保存部分のスタッフゾーンとを上下階で分離する事でゾーニングを明確にする。



名称：中部農林高校屋内運動場
及び武道場改築工事

所在地：具志川市

工期：H11. 8. 23～H12. 3. 15

構造階数：RC造+S造 2F

延床面積： 1,737.00 m²

総工事費： 415,758 千円



老朽化した体育館の建て替え工事である。

新体育館は基本的な機能の他、1階には隣接校舎のピロティと一体化した玄関広場を設け、雨天時の利用及び夏場の日陰空間を確保するなどゆとりある設計がなされている。

2階の武道場も多目的に利用できるよう、利便性を考慮した施設となっている。また、雨水利用をはじめ、通風・日照等自然環境に配慮し、段差解消スロープや身障者便所を設ける等、充実した計画がなされている。



名称：読谷高校校舎・屋内運動場
及び武道場改築工事

所在地：読谷村

工期：H11. 9. 13～H12. 3. 27

構造階数：校舎 RC造 3F

屋体 RC造+S造 2F

延床面積：校舎 2,467 m²

屋体 1,946 m²

総工事費：校舎 640,255 千円

屋体 423,889 千円

この学校は、昭和47年から56年にかけて建てられた鉄筋コンクリート造校舎2棟、屋内運動場・武道場の老朽化により改築したものである。計画に当たっては、外部からのアプローチを考慮し校舎の中心に管理棟を配置し、エントランスがわかりやすいよう配慮している。また、既設校舎との機能的なつながりを持たせるため、すべて渡り廊下でつないだ計画となっている。雨水は、トイレ・散水用水への利用と、既存樹木を生かした庭園計画など、自然環境に対する配慮もなされている。

